

KANUC

カナック

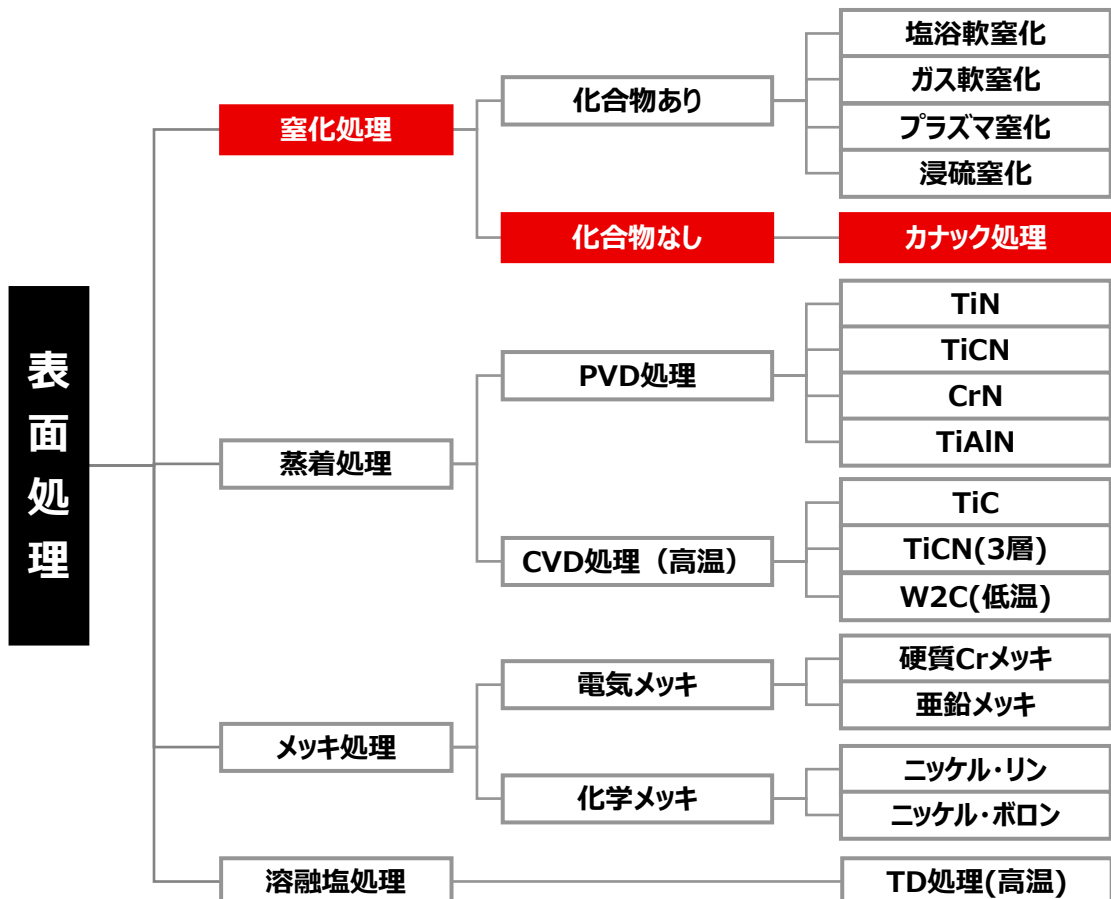
従来のFeN主体の窒化とは異なり、CrN、MoN等を主体とした拡散処理です。従来窒化処理で問題とされている処理後の靱性の低下や寸法変化、面荒れ等を大幅に改善することで幅広い分野の適応が可能となりました。

効果

耐摩耗性の向上

基本処理※カナック処理群のベース処理

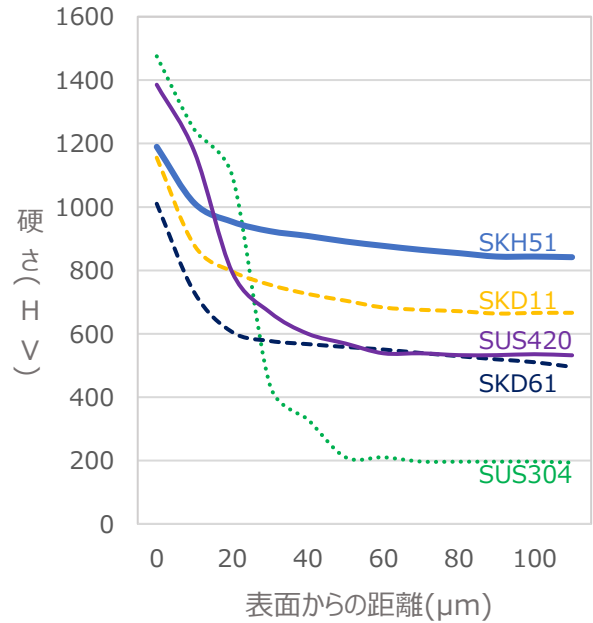
カナック処理の位置づけ



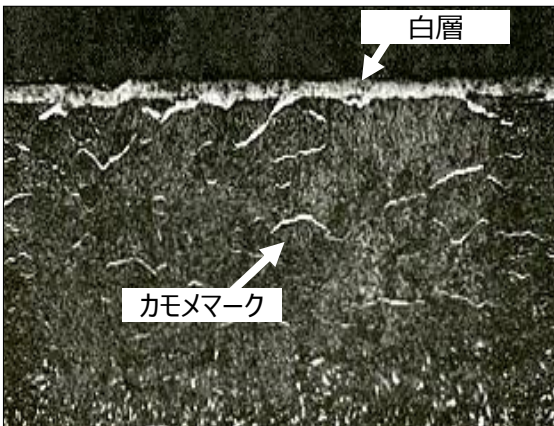
カナック処理の特徴

- 韌性の低下が少ない
拡散層主体の硬化層
- 表面粗さの変化が少ない
- 繰り返し処理により
処理効果の再現が可能
- 複雑な形状、深穴にも
均一な硬化が得られる
- 反り、膨張、寸法変化が少ない
- 処理後の溶接・追加工も可能

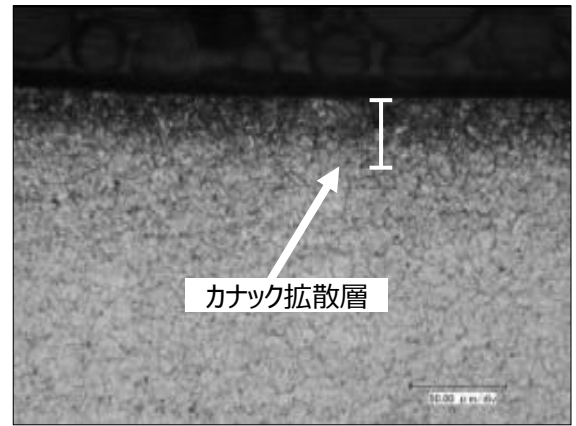
材質別硬さ分布曲線



金属組織写真 (SKD61)



ガス軟窒化処理



カナック処理

ヒートサイクル試験後のSEM画像

(570°C135sec.→100°C水冷×1万回)



無処理



カナック処理

20231128

